

## スタンプラリー in 日野宿 2017 (第76弾)

平成29年4月24日(月)午前9時から2時間ほど、日野市観光協会・日野宿応援隊ひの散策組・日野宿発見隊のメンバーなどにより、通称裏の川の親水広場から川崎街道付近までを用水清掃しました。

5月13日・14日に開催される新選組まつりを迎えるにあたり、日野市を訪れる皆さんを気持ちよく迎えたいとの思いから取り組まれたものです。途中から、日野一小の副校長先生や高学年の子どもたちも訪れ作業風景を見学してきました。



日野宿発見隊の代表・副代表も頑張りました！



青い法被姿の女性が日野宿応援隊ひの散策組のメンバー

5月6日(土)図書館閉館後、「スタンプラリー in 日野宿 2017」のチェックポイントのひとつ、とんがらし地蔵尊で配るとんがらしの袋詰め作業を行いました。このとんがらしは地元の松本保さんが庭先で育ててくれたものです。ビニール袋にはとんがらし地蔵尊の解説ととんがらし2本が納められ、約400袋できました。



5月13日(土)、午前9時30分(開始時間を早めました)から「スタンプラリーin日野宿2017」(日野宿発見隊第76弾)が開催されました。

朝から小雨が降る生憎の天候。昼にかけてますます雨脚が強くなるとの天気予報。

そこで、今回は、受付を本陣のみとさせていただき、佐藤彦五郎新選組資料館所有の判を除く、すべてのスタンプをゴール(本陣)に集め、その場ですべてを押してもらおうという方式をとりました。

12時には終了の予定でしたが、あとからあとから訪れる皆さんのため、結局2時すぎまでとなりました。

こんな天候にもかかわらず、217名の方に参加していただきました。

新選組まつりを楽しみに全国から来られる皆さんをはじめ、市民の皆さん、当スタンプラリーに参加していただき本当にありがとうございました。

また、開催にあたりお世話になったボランティアの皆さん、自治会の皆さん、日野市職員の皆さん、この場をお借りして御礼申し上げます。

なお、今年は日野用水開削450年ということで、緑と清流課の皆さんにより記念のスタンプに加え、缶バッジの配布がありました。

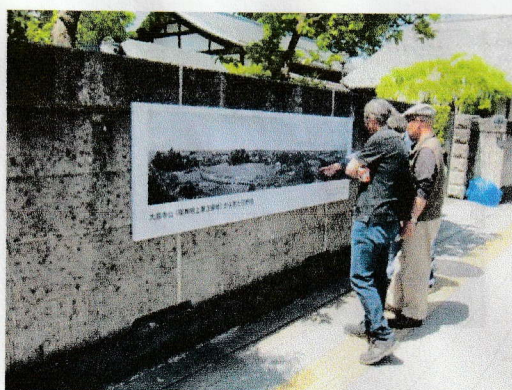


## パノラマ写真「大昌寺山から見た日野宿」をリニューアル

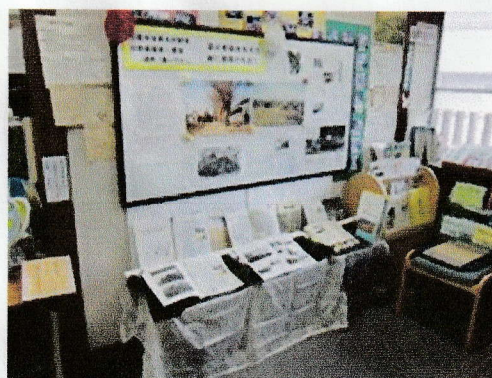
5月8日(月)、大昌寺の石塀に「大昌寺山から見た日野宿」のパノラマ写真を取り付けました。劣化により取り外したパネルを以前より頑丈に製作し直しました。

森町の志村章さんによって撮影された昭和30年代の懐かしい写真です。

地元の皆さんだけでなく、新選組まつりで訪れた観光客の皆さんにも喜んでもらえたようです。



日ノボリ リニューアルしたパノラマ写真



桑ハウス、国有形文化財登録記念展示

## 桑ハウス、国有形文化財登録記念展示

仲田の森蚕糸公園内に現存する旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室（通称「桑ハウス」）が、6月28日付けで国有形文化財に正式に登録されました。

長年、この施設の保存運動に取り組まれていた皆さん、本当におめでとうございます。これを祝し、日野図書館でも関係資料を展示しました。同施設の今後の活用を考えるうえで参考にしてもらえれば幸いです。

## 夏休み！親子で調べよう日野用水（第77弾）

7月29日（土）、午前9時半から正午まで、第12回こども発見隊「夏休み！親子で調べよう日野用水」（第77弾）が開催されました。

参加者は、子どもが22名、保護者が20名、スタッフ12名、計54名でした。今回も、募集受付開始後、あっという間に定員20組になってしまうほどの関心の高さでした。

今年は日野用水開削450年という記念すべき年でもあり、スタッフの方もいつも以上に熱が入った会となりました。

受付時に、参加者の子どもたちには、緑と清流課よりいただいた日野用水開削450年の記念の缶バッジがプレゼントされました。

開会の挨拶、オリエンテーションの後、早速胸に缶バッジを付けた子どもたちと保護者の皆さんは井上班、加藤圭班の2組に分かれ、井上班は用水の上流、成就院の裏側へ、もう一方の加藤圭班は主に地区センター前の用水で、用水に生息する生き物の観察・採取に取り組みました。



後半には、市長公室広報担当の要請を受け、広報表紙用写真の撮影のため、日野用水土地改良区理事長の天野武雄さんもいっしょに加わると、子どもたちの熱もヒートアップ。

予定より若干伸びて1時間ほど経った後、桜の木陰に移って、本日の採取物を見ながら井上さんからのレクチャーがありました。

特に、今回初めてブラックバスが採取されたのも驚きでしたが、ブラックバスを除き、いつもどおり、採取した生き物は元の用水にリリースしました。



カマツカ



コイ、カワムツ、スジエビなど



初めてとらえたブラックバス  
全部で4匹とれたそうです！



11時過ぎに地区センターに戻り、用意された冷たいオレンジやゼリーで涼をとった後、日野用水にまつわる絵本や用水の生き物を調べるために役立つ本の紹介がありました。また、日野市用水組合長の天野武雄さんや郷土資料館の白川さんからもお話をしてもらいました。

最後に、アンケートを記入してもらった後、日野宿発見隊10周年記念のファイルと、スタンプラリー用に製作された選之介の特製缶バッジやとんがらし地蔵特製お守りなどのお土産をもらって散会となりました。

心配していた程にはあまり暑くならず、本当に助かりました。怪我することなく、無事終了できたことを感謝したいと思います。まちの宝、日野用水をこれからも大切に作る子どもたちになって欲しいですね。

## まちかど写真館 in ひの一日野用水今昔一（第78弾）

平成29年は、永禄10（1567）年に日野用水が開削されてから、ちょうど450年という記念すべき年でした。

日野宿発見隊ではこれまでも、まちの宝、日野用水をテーマに、子どもたちとの用水あそびやまちかど写真館、用水清掃など、いろいろ取り組んできましたが、今回、日野用水開削450年を祝して、8月1日（火）から9月30日（土）まで、大昌寺の用水側石堀と用水転落防止柵に、日野宿の絵図をはじめ、今から半世紀前の写真を中心に新旧の写真などを展示しました。



\*協力 佐藤信行様（上佐藤家）・大昌寺・緑と清流課・郷土資料館

## ちょこっと夕涼み会（第79弾）

8月26日（土）午後、「ちょこっと夕涼み会」（二部構成）を開催しました。第一部は午後4時半から、子ども向けに、親水広場で笹船流し、その後、大昌寺で時の鐘を実演させてもらいました。

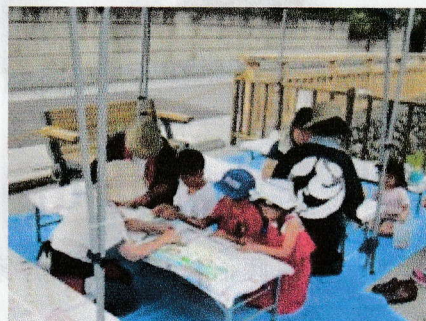
第二部は一般向けに、午後6時から金子橋地区センターで「写真・映像で見る日野用水」を開催しました。



これに先立ち、スタッフ一同で親水広場の草刈り作業を行いました。新選組まつり前に行っていたので、刈った草はボランティア袋の大袋4袋となりました。さて、作業中にも時折小雨が落ちてきましたが、雲の様子もそれほど悪くなく、予定通り広場近くに簡易テント3張を組み立て、床にはブルーシートを敷き、平机を配して準備完了。

駄菓子屋の橋本さんも出店してくれ、いよいよ夕涼み会の始まりです。用水沿いを吹く風のおかげで、これまでの猛暑とはうって代わって少し涼しささえ感じました。

平成29年は日野用水が開削されて450年ということで、参加してくれた子どもたちには、緑と清流課からお借りした特製大型スタンプの押印と特製の缶バッジをプレゼント。そのあと早速、スタッフの手を借りて笹船作りに挑戦してもらいました。中には通りかかった年配の女性が懐かしわねといっしょに笹船作りに参加してくれました。



2歳ぐらいから小学5年生まで、人数は少ないものの、その代わり何度も笹船を用水に流すことができました。

そこに届いたのが、井上カメラマンが昨日採ってくれたオイカワ・カワムツ・カマツカなどのたくさんの小魚でした。先月開催した「親子で調べよう！日野用水」では1匹しか採れなかったオイカワですが、今日はたくさんいて、全身の縞模様がとてもきれいでした。



井上博司さん提供の川魚



早速、みんなで魚を水槽からつかみ出し用水に放してあげました。おそろおそろ魚をつかむ幼い子どもたちの姿がほほえましかったですね。

この後、大昌寺に向かい、ご住職の杉浦さんから時の鐘についてお話をしてもらい、いよいよ時の鐘の実演です。



杉浦ご住職といっしょに時の鐘の実演

なお、当日は日本大学芸術学部の女子大生による作品制作のための撮影もありました。

引き続き、夕方午後 6 時から、金子橋地区センターにて「ちょこっと夕涼み会」の第二部を開催しました。

参加者の皆さんは、これまでも日野宿の写真を提供していただいた方々がほとんどでしたので、日野用水に関連した写真のほか、出席者それぞれの方から提供していただいた写真を見ていただきながら、若かりし頃の思い出話しを交えて 1 時間半ほどの夕べを楽しみました。

## 八坂の祭り写真展（第 80 弾）

9 月 1 日（金）より、八坂神社の玉垣、竹間家フェンス、森町消防器具置場の壁面に、明治から平成に至る八坂神社の祭りの写真を展示しました。早いものでこの八坂の祭り写真展も今回で 10 回目となりました。

玉垣に 25 点、竹間家フェンス 5 点、森町消防器具置場の壁面に 15 点。計 45 点を展示しました。

新たに製作された東コースの昨年撮影の写真 6 枚（井上博司氏撮影）は森町消防器具置場の壁面に現在も展示中です。



八坂神社の玉垣に展示された  
写真パネル



森町消防器具置場の壁面





## (戦) 8 日野一中生徒と用水清掃 (番外編) もせさま

10月10日(火)、午後4時から日野一中生徒会の呼びかけで、日野宿発見隊(4名)との合同で、日野用水清掃に取り組みました。

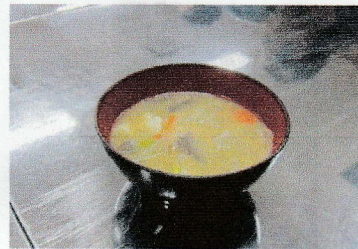
昨年引き続き、100名を優に超える生徒や先生が参加してくれました。各部活のメンバーが一団となって参加してくれたようです。事前の連絡では参加者が少ないかもしれないとの話でしたので、これにはうれしい悲鳴。

1時間ほどの作業でしたが、これだけの人数だと実に仕事ははやいこと。結局、ボランティア袋40袋を超える収穫(?)がありました。今回は空き缶や瓶は少なく、ほとんどが水草や雑草でした。

そんななか、体育館脇の流れのなかでは、水草に隠れていた小魚やザリガニが現れて歓声が上がったりもしました。



日野一中前の用水清掃の様子



家庭科クラブの皆さんによる豚汁に感謝!

作業終了後には、家庭科クラブの皆さん手作りの豚汁をいただきました。天気もよく暑いぐらいの陽気でしたが、労働の後の一杯は最高でした。創立70周年を迎えた日野一中の皆さんとの楽しいひと時でした。校内を用水が流れるという素晴らしい環境をこうした取り組みを通じていつまでも大切にしていってほしいですね。

なお、10月には創立70周年の記念式典に日野宿発見隊メンバーがお招きを受け、皆さんとともにこの慶事を祝いました。

## まち歩き会「日野宿ミステリーツアー」(第81弾)

12月2日(土)初冬の日野宿を訪ねるまち歩き会を開催しました。今回は、参加者の皆さんには訪ねる場所を公開せず当日のお楽しみとしました。

天気にも恵まれ、木々の紅葉をめでながら、今回特別に公開していただいた松本保氏、佐藤元雄家、有山董家の3軒を訪ねました。

案内人は市内在住の建築家川崎和彦さん。加えていつものように説明補助者多数。

1軒目は松本保家。松本さんは日野宿発見隊のメンバーにとってなくてはならない方です。日頃から日野宿についていろいろ教えていただいています。市内でも相当の古木である柿の木と、近隣の方と共同で祀っているというお稲荷さんなどを見せていただきました。



松本保家



北原の共同稲荷社

2軒目は佐藤元雄家。写真の家屋は、「男造り」の日野宿本陣に対し、「女造り」というそうです。

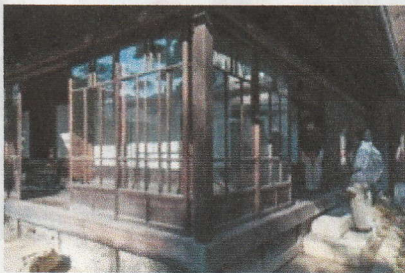


熱の入った谷副代表のレクチャー

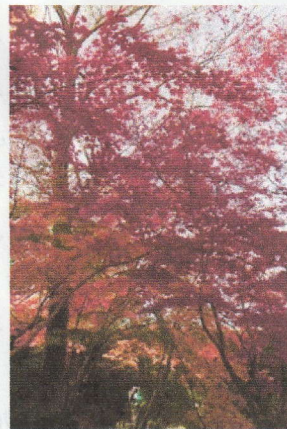


佐藤家の庭には富士塚も

最後は日野宿の東外れにある有山董家。佐藤彦五郎の四男彦吉さんが養子に入ったお宅で、日野宿から移設された「上段の間」を見学させていただきました。有山家と言えば、御当主のご尊父有山崧さんは現在の公共図書館の礎を築かれた方です。普段は非公開のところを特別に見せていただきました。



上段の間



中庭の色鮮やかな  
紅葉



初冬の半日、日野宿内に残る歴史の息吹を感じるまち歩き会となったようです。

## まち歩き会「日野宿周辺の野草を探しに」(第82弾)

平成30年3月26日(月)、午前9時半から正午まで、日野図書館を出発して、旧渡船場道から多摩川の河川敷まで、春の野草を求めてまち歩き会を開催しました。

参加者は児童4名と大人9名にスタッフ9名を加えて、計22名でした。



点呼後、いざ出発！



早速、見つけたノビルをゲット

参加者一同、図書館で用意した植物図鑑を片手に、そこそこに咲き乱れる春の植物の観察・採取。そのあと、河川敷にビニールシートを広げ、事務局差し入れのヨモギ団子を楽しんだあとは、子どもむけにばばあちゃんの絵本『よもぎだんご』(さとうわきこ/作・絵)の読み聞かせが行われました。

今回は採取した草花をその場で食べることはできませんでしたが、参加者のなかにはヨモギなど持ち帰り、テキストを参考に料理をしようと意気込む方もいました。うまく料理できるといいですね。



本日の成果 どれもおいしそう！

晴天に恵まれ、公園の桜の花もひととき美しく、気持ちのよいまち歩き会でした。

なお、図書館に無事戻ったあと、参加者には日野宿発見隊特製のクリアファイルがお土産として渡され、散会となりました。皆さんお疲れ様でした。

(戦 8 菜) 121 雑草の観察日記 会をせさま

「発出さ 雑草図鑑日、がま子五のん半和の南平、(日) 日 0 2 日 8 年 0 2 強平、  
「新聞さ 会をせさまアのみ案さ草裡の暮、がま敷川河の川津さじの重集備新田、ア  
「式」ま  
「式」ア 8 2 2 相、ア大賦を余りてやでスゴ余の人大さ余と驚現が青賦